

会社紹介



アドビ株式会社



アドビが変えてきたこと アドビと変えていけること

書類のやりとりに欠かせないPDFや、
クリエイティブを支えるIllustrator、Photoshop。
さらに、顧客との関係性を深めるデジタル体験へと
アドビは自らも変化しつつ、社会を変えてきました。
この冊子では、あらためてアドビの歴史を
ご紹介するとともに「いま」をお伝えいたします。



Adobe Document Cloud



デジタルドキュメントの革新は アドビのPDFから始まりました

いまでは、あらゆる場面で日常的に使われている「PDF」。

アドビが発明した技術であることをご存じですか。

PDFとは「Portable Document Format」の略で、

文書データをどのアプリやデバイスでも

レイアウトした通りに表示したり保存したりすることができるファイル形式です。

異なる基本ソフト(OS)のパソコンでも、スマートフォンの画面でも、

同じように表示される「電子ペーパー」。

米国のアドビ システムズ(現 アドビ)が1990年代初めに開発し、

2008年に国際標準化機構(ISO)によって標準化されて以来、急速に普及しました。

「ペーパーレス」に欠かせないデジタルドキュメントの革新は、

アドビのPDFから始まったのです。





Adobe Creative Cloud



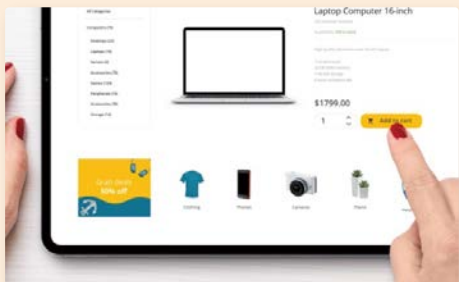
クリエイティビティと言えばアドビ デザイナーやフォトグラファーの 必須アイテムです

PDFと同様にアドビを有名にしたのが、「クリエイティブツール」の
代名詞ともいえる Adobe Illustrator と Adobe Photoshop。
これらのグラフィック制作ソフトと写真画像編集ソフトは、
デザイナーやフォトグラファーなどクリエイターの「必須アイテム」となりました。
パソコン上で印刷物のデータを制作するDTP(Desktop Publishing)は、
アドビが創世記に開発した Adobe PostScript の技術によって飛躍的に普及し、
世界中の出版社、広告デザイン会社など、クリエイティブ活動に広く採用されました。
また、当初「パッケージモデル」だった販売方式を、
「クラウドベースのサブスクリプションモデル」に先陣を切って変えたのもアドビ。
定額料分で常に最新版が使える利便性はもちろん、
発展し続けるアドビの様々なツール群が、次なる創作活動に役立てられています。





Adobe Experience Cloud



Data Insights & Audiences

Content & Commerce

Customer Journeys

Marketing Workflow

一人ひとりに最適なコンテンツを
最適なタイミングで届ける
「最高のデジタル体験」へ

優れた体験 (Experience) には、
顧客の期待に応える魅力的なコンテンツが不可欠です。
そして、データ管理や分析で顧客の嗜好を理解し、
適切なタイミングとチャネルで届けることにより、
継続的に顧客とのエンゲージメントを深めることができます。それを実現するのが、
アドビのデジタルエクスペリエンスソリューション「Adobe Experience Cloud」。
コンテンツを顧客ごとにパーソナライズして届ける。
しかも AIなどを駆使した自動化により、広範囲の顧客との関係を
維持、発展させていくことが可能となります。

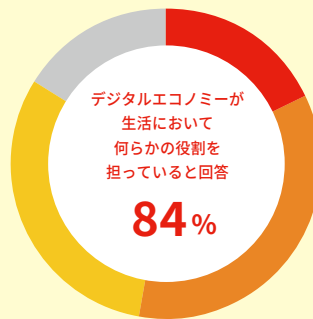


デジタルエコノミーは 経済や生活などあらゆる中心に

アドビが実施した調査によると、以下のようなことが明らかになりました。

1. 世界の消費者の 84% が
「デジタルエコノミーが自分たちの生活で役割を果たしている」と答え、半数以上(53%)が「強い役割を果たしている」と答えている。
また、約5人に1人(18%)が「デジタルエコノミーはまさに経済そのもの」と回答。
2. デジタル コンテンツ制作などの内製化によって、
クリエイティブツールのスキルを持つ人材へのニーズが年々増加している。
3. 日本で「テレワークの方がオフィス勤務より仕事がかどる」と
答えた人は、他国の69%平均に比べて42%。
雑務にかかる時間が対象国の中で最も多く、紙文書の作成や確認などの
タスク効率化のためにデジタルツールの導入を期待している。

社会の変化に対応するため、日本企業はデジタルを中心とした働き方と暮らし方へ、シフトを加速することが求められています。



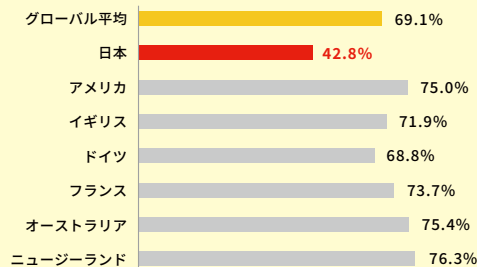
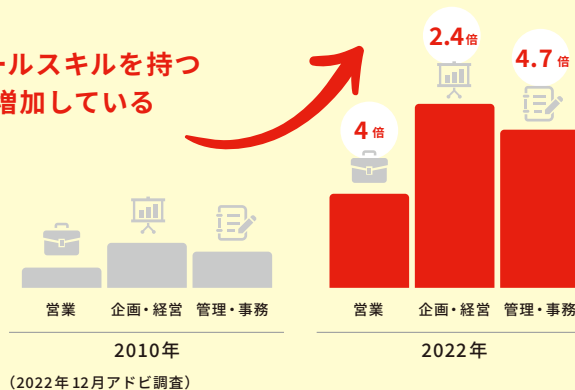
(2023年4月アドビ調査)

1. デジタルエコノミーは確実に 私たちの生活に影響を与えている

問：以下の文章のうち、どの文章に最も同意しますか？

- 18% デジタルエコノミーはまさに経済そのものである
- 35% デジタルエコノミーは私の生活において重要な役割を果たしている
- 31% デジタルエコノミーは私の生活において少なからずの役割を担っている
- 16% デジタルエコノミーは私はあまり関係ない

2. クリエイティブツールのスキルを持つ 人材を求める数は増加している



(2021年9月アドビ調査)

3. テレワークの方が オフィス勤務より 仕事がかどる

アドビ調査リリースは
こちらをご覧ください ▶▶▶





心、おどる、デジタル

アドビと 「心、おどる、デジタル」へ

紙をデジタル化し、オンラインで業務を進めるだけが
デジタルトランスフォーメーションではありません。
もっと先へ、未来の仕事・生活・世の中へ。

アドビはグローバルミッションとして「世界を動かすデジタル体験を」を掲げ、
デジタル体験で世界をより良く変えるリーディングカンパニーを目指しています。
そして2021年、日本で策定したビジョンが、「心、おどる、デジタル」です。

デジタルの力が「新たな変革」への突破口となり、
デジタルの力で「自由な発想」をカタチにできる社会。
Digital Experience (デジタル体験)の革新こそが、
アドビの考えるデジタルトランスフォーメーションです。





Adobe Creative Cloud

クリエイティブを解放



Adobe Document Cloud

文書の生産性を加速する



Adobe Experience Cloud

デジタルビジネスを強化する



Adobe Sensei

(Adobe Firefly / Adobe Sensei GenAI)

人工知能 (AI) と機械学習のプラットフォーム

ビジネスも生活も行政も教育も クラウドで変革

アドビは3つのクラウドソリューションを通じて、最高のデジタル体験を支援。多くの製品ではAIと機械学習が活用され、よりスマートで効率的なデジタル体験の実現をお手伝いしています。ビジネスのデジタルトランスフォーメーションを実現するためのコンサルティングサービスや製品活用を支援するカスタマーサポートを提供。ビジネスで、生活で、そして行政や教育の現場においてアドビのクラウドがもたらす「心、おどる、デジタル」をご覧ください。



詳しい事例は
こちらをご覧ください ▶▶▶



アドビとつながる アドビでつながる

アドビは、**ユーザーコミュニティ**を巻き込んで
変革の渦を大きく加速させています。

世界中からクリエイターが集結する祭典や、
マーケットユーザーの活発な交流、児童や学生向けのイベントなど、
アドビを共通とするコミュニティから新たな関係が生まれ、
クリエイティビティが広がっています。

Creator



プロもアマチュアも問わず、イラストレーターや
映像作家など、あらゆるクリエイターが刺激を受
け、交流する場を提供しています。「Adobe MAX」
は世界最大のクリエイティビティの祭典。
「Behance」はクリエイター自ら作品を公開して、
他のクリエイターから評価やコメントを受けたり、
その場で新たなビジネスのきっかけにつながるコ
ミュニティとなっています。

Business



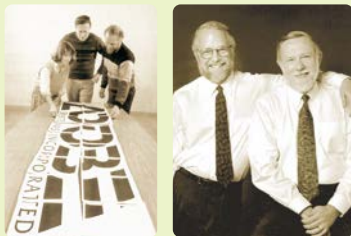
「Adobe Summit」や「Experience Makers Live」
などのイベント、あるいはユーザー会などを通じ
て、業種の壁を超え、デジタルを中心としたビジネ
ストランスフォーメーションの情報や意見交換を
活発に行っています。日本のMarketo User Group
(MUG)は、アメリカに次ぐ大規模なコミュニティ
となっており、まさにプロフェッショナルが集う
空間です。

Education



創造性やデジタルリテラシーを育成するべく、先
生や教育関係者らが集まり、事例の共有や意見交
換をする場としての「Adobe Education Forum」
などのイベントや、「Education Exchange」など
オンライン上のコミュニティを展開。直接児童や
学生を対象としたプログラムも多彩です。

40年にわたる 変革の歩み



アドビは1982年、グラフィック記述言語の開発に携わっていた
ジョン ワーノックとチャールズ ゲシキによって創業されました。
創業以来、アドビはイノベーションと市場の変化への対応を続け、
大きな転換点を迎えながら成長し続けています。

変革し続けるアドビ

1

1982年～2000年頃

Post Script 発表、DTPの普及、デザインツールの充実

2

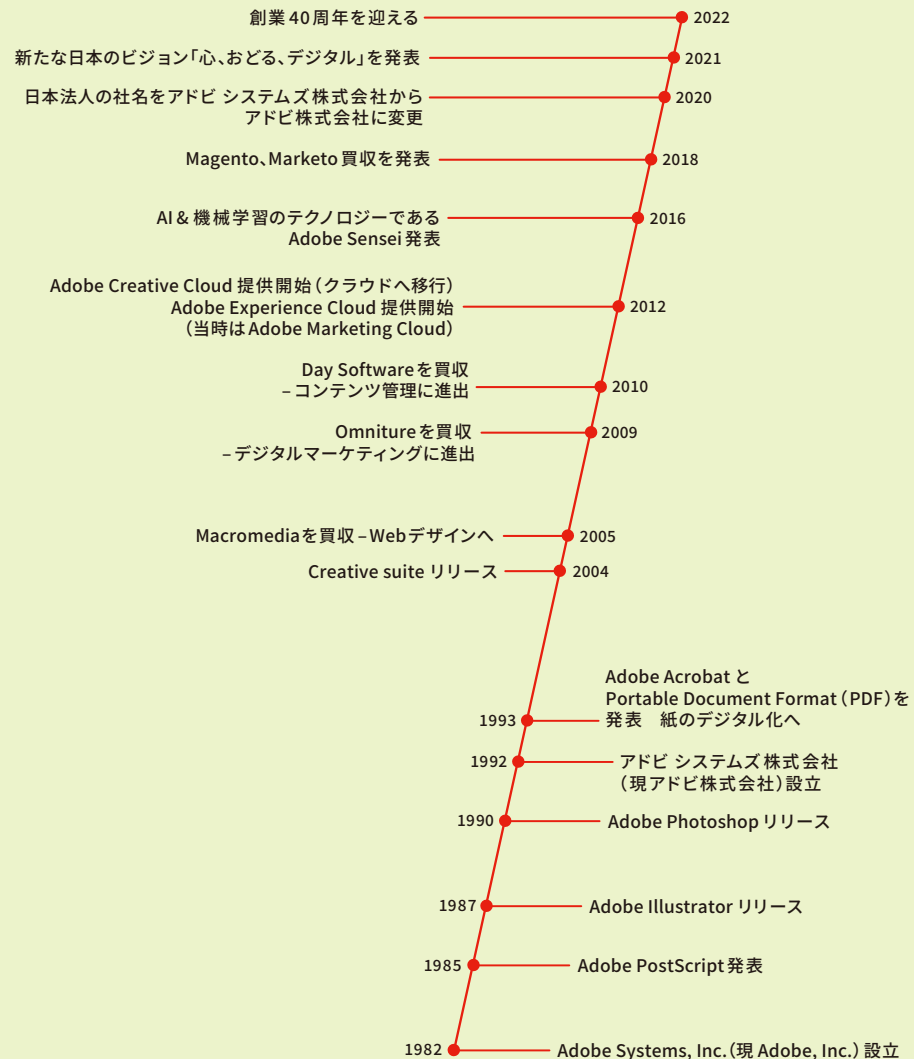
2000年頃～2010年頃

Web、動画、モバイルコンテンツの台頭

3

2010年頃～現在

クラウド・サブスクリプションビジネスへの移行



社会にポジティブな影響を

ダイバーシティとインクルージョンを促進

個性の違いを認め合い、多様性のあるチームこそイノベーションを生み出し、ビジネスの成功を導くという信念のもと、「Adobe for All」というビジョンを掲げ、誰もが尊重され、公平な扱いを受ける環境づくりに社内・外で取り組んでいます。



テクノロジーの公正な利用 (Use Tech for Good)

画像や映像を悪用したフェイク情報の拡散に対抗し、フェイク画像を判別する機能をPhotoshopなどに搭載するほか、デジタル認証を通じて作者の権利が守られるようにコンテンツ認証イニシアチブ (CAI) を立ち上げ、業界を横断して取り組んでいます。NFTマーケットプレイスや暗号通貨ウォレット情報とも綿密に連携。



地域社会の課題にアドビらしく取り組む

社員の選んだNPOへの寄付や、社員がボランティア活動に費やした時間を任意の団体に寄付することで、コミュニティへの貢献を推進しています (Run for the cure foundation の Virtual run や児童養護施設とのオンラインワークショップなど)。



NPO 法人キッズドアとの「ママさん応援企画」

生活に困難を抱える母親への復職や副業支援を目的とした共同プロジェクトを実施しています。離婚やコロナ禍での収入減や失業など、様々な事情を抱えている方に、アドビのクリエイティブツールを学ぶオンライン講座を通じてスキルアップを支援。



「IFUTO」プロジェクト

キッズドアと千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート、一般社団法人プロジェクト希望の3団体をパートナーとして、経済的困難を抱える女子中高生を対象にITとデザインを学ぶ機会を提供するプログラム「IFUTO (いふと)」を実施しました。「Adobe Photoshop」、「Adobe Illustrator」の基本的な使い方を学びながら缶バッジの制作を通じて楽しくデザインすることを実感してもらいました。



SDGs コンテスト

教育機関向けに無料提供する「Adobe Spark」[※]を使い、「SDGs 達成のためのアイデア」について動画を含む web ページとして表現されたクリエイティブ作品を募集しました。SDGs が目指す 2030 年のゴールに向けた支援活動に取り組んでいます。 [※]現在は Adobe Express として提供されています



心、おどる、デジタルをご一緒に

アドビが日本でビジネスを始めて30余年。

多くのアプリケーションやサービスを通じてイノベーションを起こしてきましたが、デジタルはいままで以上に日々の生活や企業活動の中心的存在となっております。

AIの活用が飛躍的に進み、ARやVRなどの技術が登場。

さらに、NFTやMetaverseなど新しい概念が次々と生まれています。

すべての人に「心、おどる、デジタル体験」を。

アドビは、人々の「つくる力」を開放し自由な創造性を引き出すCreative Cloud、文書業務に必要なあらゆるニーズに対応する Document Cloud、そして、デジタルエコノミーで企業を成功に導くExperience Cloudによって、世界を動かすデジタル体験を実現。

目の前の課題を解決するだけでなく、

その一歩先にある新しい社会や働き方を見据え、

他ではなし得ない喜びと感動をデジタルの力で創造してまいります。

アドビ株式会社



アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

<https://www.adobe.com/jp/>

